



第二十五回 平成二十五年一月一日
発行 東京都立東部療育センター
広報委員会
東京都江東区新砂三-三-二十五

新年の挨拶をする有馬院長
〈平成25年1月4日〉

年頭にあって
院長 有馬 正高

新年おめでとうございます。
新年から年始にかけて、多くの長期利用者や急患で訪れた人達の安心と安らかな生活を守りつづけてくれた職員に対しても、心から感謝いたします。正月の飾りがとれ、外来に次々と利用者のご家族連れが見えると、センターの日常の仕事が始まったという気持ちが湧いてきます。
昨年は、本センターの開設記念式を主催した石原都知事の退任、国政選挙による内閣の交替、イギリスでのオリピック、パリンピックの放映など、目まぐるしく過ぎた年でした。
重症心身障害児(者)を守る会に關係しては、私どもの敬愛する北浦会長が、永年にわたる重症心身障害の人権と福祉の樹立にそそがれた功績により、名誉都民として、東京都から顕彰されたことが心に残る出来事でした。
センター内では、ヒトメタニューモ、

ノロウイルスなどの流行があり、緊張する場面がありました。幸いに複数の病棟での伝播は阻止できました。現在、インフルエンザの流行が著明になる時期で、防疫体制が重要です。平成二十三年の新年号でメキシコ、アメリカで始まった新型インフルエンザについて記し、アメリカでは多数の死亡者が出ましたが、日本では少なく幸いでしたと記しました。ところが、最近、アメリカの疾病対策センターは、当時の死亡児の過半数が脳性まひや知的障害などの神経障害を伴う呼吸器疾患であったと報告し、家族団体も乳児のワクチン接種を推進する運動に取り組み始めたと報じています。

今年も皆で力をあわせて、利用者様の生活を支えてまいりたいと思っております。
今年も安らかな年を祈ります。



新年挨拶に飾った
壇上花

行事紹介

平成二十四年十月から十二月にかけて行われた行事(オータムフェスティバル、クリスマス会)について紹介します。

三階南病棟

三階南病棟は、今年度アトラクションの担当となり、各催し物をいたしました。プレイルームでは、恒例となった「ぼれぼれ」

の発表会や、リハビリグループの演劇、そして、バリダンスではプロの方を招き、本場の踊りをみんなと一緒に踊り、異文化に触れました。

最後の締めくくりは職員バンド。会場は一体と



ビエロ登場!
パリンアートの
プレゼント

なり、大いに盛り上がり
ました。

オータムフェスティバル

二階南



玉入れに一言一
入った!・かな?

十月三日(水)にオータムフェスティバルが開催されました。今年度のゲームコーナーは二階西病棟と二階南病棟が担当し、夏に大盛況となったロンドンオリンピックにあやかり、「玉入れオリンピック」を企画しました。開催国であるロンドン、次回開催国ブラジル、日本をイメージした衣装を職員が身につけ、それぞれ難易度が異なる玉入れコースの進行を務めました。ロンドンには紳士らしくシルクハットと蝶ネクタイ、ブラジルはサンバを意識したキラキラのスーツ、日本はサムライと、思いきや男性職員による芸者ガールです。時折雨が降るあいにくの天候でしたが、会場は歓喜や落胆のため息で熱気に包まれました。

今年度より通所で初めて「延長療育」が実施されました。十月・十一月で三回に分けて、いつもより三時間長く通所で過ごしました。

延長療育、通所にて行われる
(2012.10~11月)

午後の活動では「東部オリエンテーリング」を行いました。各自しおりをもち、ハンコをもらいに病棟を訪ねました。初めてお会いする病棟利用者様も多く、皆とても緊張している様子でしたが、一緒になって指示ポイントを探していると、徐々に打ち解けていきました。お互い楽しみながら交流を深めることができました。夕食では、大きなスク



延長療育のひととき

今回初めての試みでしたが、ご家族の方にもゆっくりとして頂くことができ、利用者様もいつもと違う笑顔と表情で楽しい時間を過ごしました。

乳幼児通所
「ぼれぼれ」

また、ミュージックボックスという音楽ボランティアをお迎えして、各病棟で演奏を鑑賞しました。



みんなでおなかよく演奏

今年のオータムフェスティバルには十名の子供たちが参加しました。開会してすぐにプレイルームでの演奏会の出番がやってきました。ピアノやパーカッションで「ぼれぼれ音楽隊」を編成し、ドキ

た。観客の皆さんの黄色い声援もあり、プレイルームは大盛り上がりとなりました。その後はSTグループの映像劇を見たり、パリンアートのビエロさんにかわいい風船を作ってもらったりと、ごほうびタイムを楽しみました。ゲームコーナーの「スペースツリー」や「玉入れ」は子供たちだけでなく保護者の皆さんも大奮闘。美味しいおやつも食べて、秋のひとときを満喫しました。

クリスマス会



待ってました！
プレゼント！



おいしかった
クリスマスケーキ

平成二十四年十二月十四日(金)に、「クリスマス会」が開催されました。体調を崩すことなく全員で楽しく会に参加できました。今年のクリスマス会は利用者様、職員共にみんなで参加できるような会にしようと、準備や練習をしてきました。ブラックライトの点灯でスタート。

催し物は、今年流行したAKB、そして一世を風靡した光ゲンジのダンスで新旧アイドル対決に利用者様も大興奮。続いてクリスマスソングをトーンチャイムで演奏をしてくれた学校組の皆さん。素敵な音色にゆったりとした時間が流れました。



二階西

今年の二階西病棟では、司会・開会式・点灯式・劇を担当するチームに分かれて利用者様ひとり一人に役割を持っていただきました。司会チームには、会のはじまりから終わりまで司会の職員と一緒に前に出て他の利用者様や職員に質問等をしていただきました。開会式チームには、開会宣言を述べていただきました。



最後に今年流行語大賞をとったスギちゃんも登場しました。



ました。点灯式チームには、一

つひとつのろうそくに明かりを灯していただき、その後利用者様と職員が共に作り上げた巨大なクリスマスツリーに明かりを灯していただきました。劇チームには、クリスマスにちなんだオリジナルの劇を職員と共に演じ

サンタ&トナカイ?

つひとつのろうそくに明かりを灯していただき、その後利用者様と職員が共に作り上げた巨大なクリスマスツリーに明かりを灯していただきました。劇チームには、クリスマスにちなんだオリジナルの劇を職員と共に演じました。クリスマス会にできるように全員で楽しみながら作りあげていきたいと思ひます。

壁面装飾ポランティア

秋本裕美さん



ポランティアとして壁面装飾をお手伝いさせて頂いています。切り絵や折り紙など最近ではほとんど縁がなく、とても不得意な分野でしたが、娘と楽しみながらチャレンジしています。このお手伝いをさせて頂くようになってから季節を改めて意識して楽しんでいきます。娘を始め外来などでセンターに訪れる方々に少しでも季節を感じ、楽しんでもらえたらいいなと思ひます。壁面装飾は、秋本さんの他にもう一人、佐田香澄さんにもお手伝い頂いています。

中・長期計画

改定について

センターは開設してから、七年が経ちました。これまで設立の基本方針に沿って、障害の重い方々を積極的に受け入れてきました。この使命を達成していくために平成二十年に運営の指針として東部療育センター中・長期計画二〇〇八を策定しました。それから約五

年が経過し、入所者や通所者の重度化や外来の状況も変化してきています。今後、当センターが重症児(者)療育はもとより、広く障害者医療の実践をかさね都民の貴重な財産となるよう二〇二二版として計画を改定しました。計画は、「超(準超)重症児(者)療育推進と新たな療育の展開を目指して」として、
【第一期、基礎確立期】
I 医療的な基礎確立
II 高度な療育の追及とそれを支える物的基盤の維持、整備
【第二期、発展期】
個別性及びライフステージに対応した療育の実現
【第三期、展開期I】
高度な療育を目指して個別性及びライフステージに対応した療育の追及
【第四期、展開期II】
今回は第四期が主な改定となっており、内容は
I 障害の重い利用者の加齢に対する総合的ア

保護者 懇談会報告

十一月十日に入所、十二日には通所の保護者懇談会が行われました。懇談会にはサービスマス向上委員会の第三者委員にも出席いただき保護者との意見交換を行いました。入所では二十人、通所では二十二人の方の出席をいただきました。センターからは福祉サービスマス



三者評価アンケート、節電の説明、職員の配置状況、病棟の利用様の状況、行事について報告しました。通所では共通の話題のほか延長療育、臨時

東部 あれこれ

今年の十月から十二月にかけて行われた行事等について紹介します。

【十月】

十一日(木)、十二日(金)の二日間、百二十五施設、二百三十五名の参加者により第十六回国重症心身障害日中活動支援協議会が大阪で開催されました。この協議会

【十一月】

二十七日(火)、東部療育センター運営協議会が開催されました。運営協議会は東京都医師会をはじめとする関係機関等からの委員の方々に、過去一年間の事業活動の報告と今後の運営方針についてご意見をいただき、

【十二月】

十三日と十七日の二日間、センターの新しい広報DVDの撮影が行われました。現在使用されているDVDは主に建物や機能を主体に作成されていますが、新たに作成されるものは利用者様の生活と医師をはじめとした職員の間わりが中心となります。出来上がりは二月末から三月始めになります。乞うご期待。

編集後記

戦国時代の武将である毛利元就は「一年の計は元旦にあり」と家来に説いたそうです。このことは、何事においても初めが肝心で、しっかりと計画を立てて物事を始めればよい結果が得られるということです。そうとは分かっている、お屠蘇気分を払拭するのは大変ですね。